

家畜衛生だより

令和7年12月発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
Tel 023-686-4410 / Fax 023-686-5715

【年末年始の防疫強化のお願い】 飼養衛生管理基準の再徹底を！

国内では豚熱の発生が継続しており、近隣国では、口蹄疫（FMD）やアフリカ豚熱（ASF）の発生が報告されています。

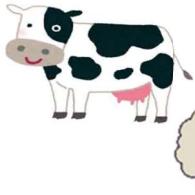
年末年始から旧正月等に向けて国内外の人・物の移動が増えるため、農場へのウイルスの侵入リスクが高まります。下記の衛生管理について必ずご確認ください。

1 海外渡航の自粛！

- 特に FMD や ASF 等の発生地域への不要不急の渡航を自粛しましょう

2 消毒及び衛生管理区域への病原体持込み防止の再徹底を！

- 関係者以外の衛生管理区域・畜舎への立ち入り禁止
- 手指の消毒や専用長靴の着用
- 野生動物の侵入防止対策(防護柵、防鳥ネット等の点検・修繕)



3 毎日の健康観察、異状の早期発見および早期通報を！

- 飼養家畜の毎日の健康観察をしっかり行いましょう
裏面の症状を参考にしてください

4 緊急時の連絡体制の確認

- 夜間、休日であっても速やかに家畜保健衛生所へ通報してください

飼養家畜に異状が見られた場合は、中央家保まで連絡を！
中央家畜保健衛生所 023-686-4410 (休日・夜間共通)

口蹄疫(FMD)

疑わしい症状は直ちに通報を！

4月に韓国で発生確認

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

～牛の症状～



泡状のよだれ



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

～豚の症状～



接種3日目



接種4日目

多数の水疱病変を確認

豚熱(CSF)

2018年以降国内発生継続中

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に継ぐ下痢、呼吸障害等

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

重症例は後軸麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。

アフリカ豚熱(ASF)

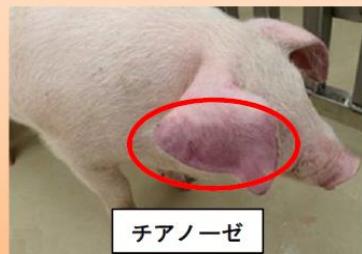
10月に台湾で初発生

**病状は多岐に渡り、甚急性では突然死で、
急性では発熱が見られます。**

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死、急性では発熱（40～42°C）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。